【参考　１】

洪水の危険のレベルに対応した表現等

洪水の危険のレベル	洪水予報の標題 ［洪水予報の種類］	水位の名称	市町村・住民に求める行動等
レベル５	はん濫発生情報 ［洪水警報］	（はん濫発生）	逃げ遅れた住民の救助等 新たにはん濫が及ぶ区域の住民の避難誘導
レベル４	はん濫危険情報 ［洪水警報］	はん濫危険水位 ［危険水位］	住民の避難完了
レベル３	はん濫警戒情報 ［洪水警報］	避難判断水位 ［特別警戒水位］	市町村は避難勧告等の発令を判断 住民は避難を判断
レベル２	はん濫注意情報 ［洪水注意報］	はん濫注意水位 ［警戒水位］	市町村は避難準備情報（要援護者避難情報）発令を判断 住民ははん濫に関する情報に注意 水防団出動
レベル１	（発表なし）	水防団待機水位 ［指定（通報）水位］	水防団待機

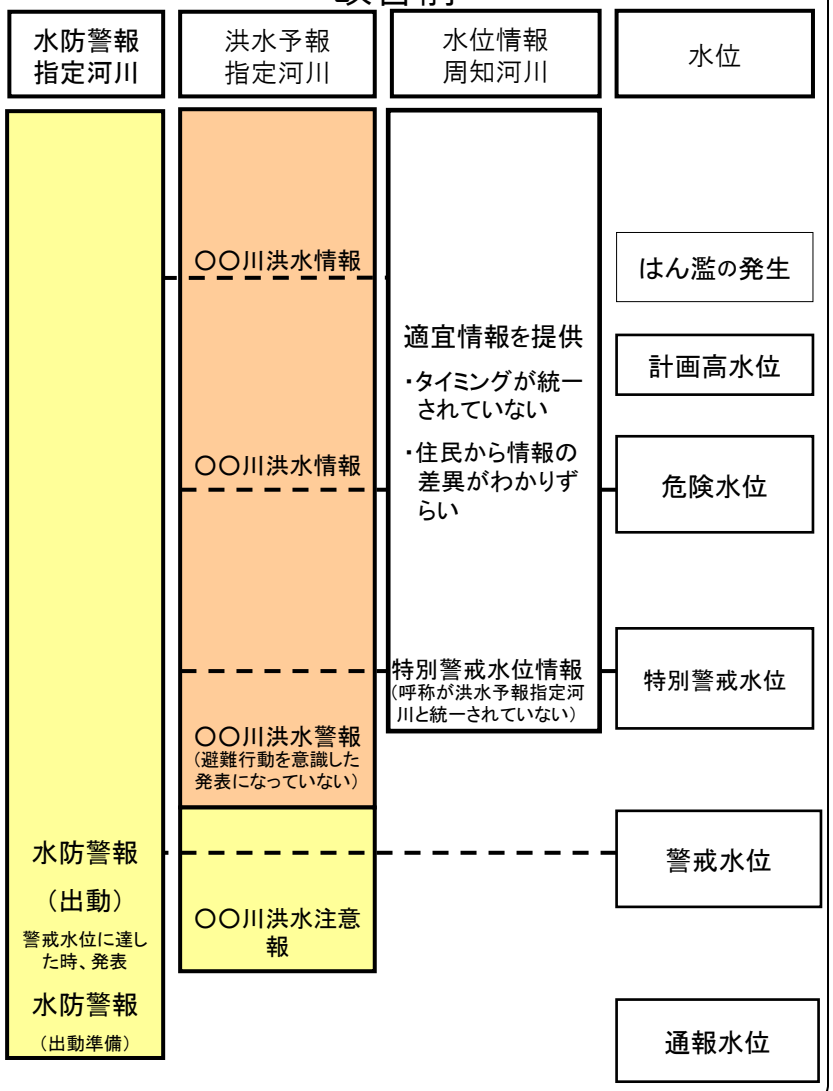
※　［　　］書きは従来の用語です。
※　国が管理する河川は「洪水予報河川」として、上記の流れで洪水予報を発表します。
※　岩手県が管理する河川は「水位情報周知河川」として、上記の流れで水位情報を周知します。

洪水等に関する防災情報体系の見直しの概要

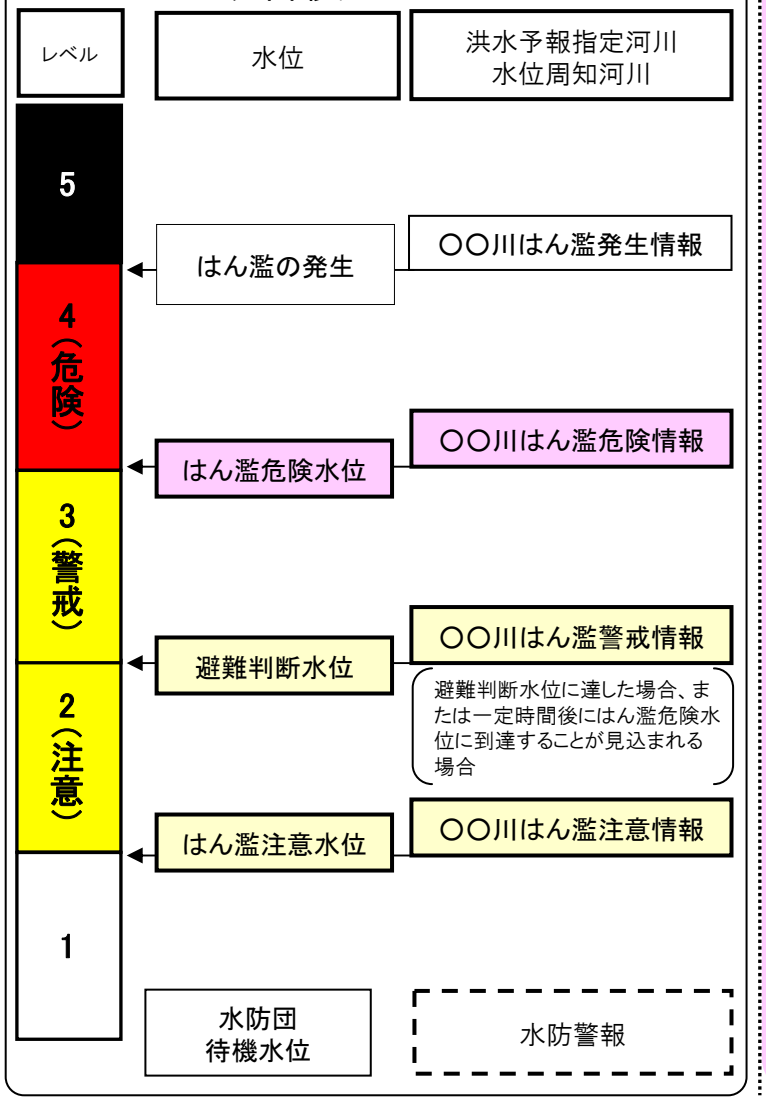
①大河川、中小河川を問わず発表する防災情報とそれに対応する水位を統一
②発表情報と避難行動等との関連を明確化
③水位名称を受け手のとるべき行動や危険度レベルがわかるものに改善

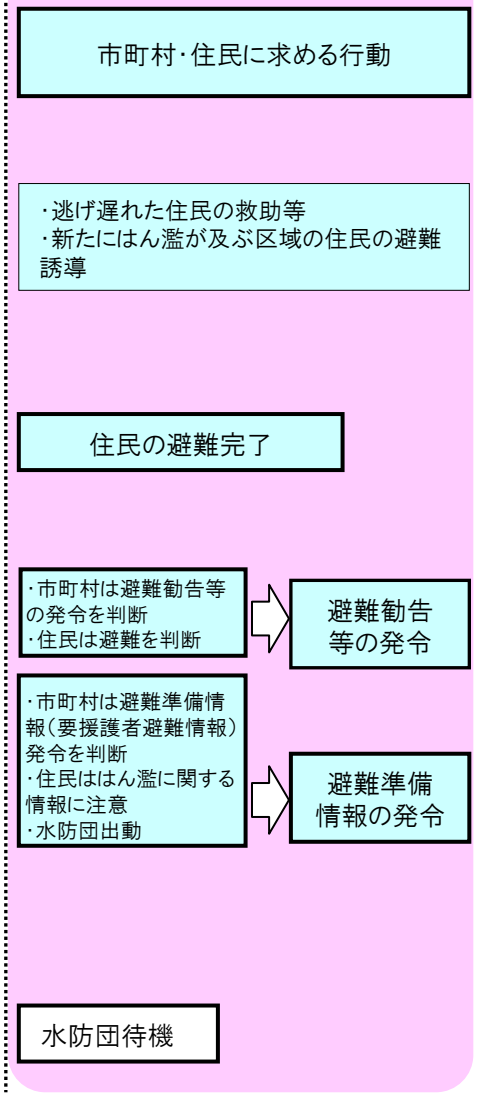
詳しくは、平成18年6月22日発表報道発表資料『「洪水等に関する防災情報体系のあり方について」の提言について』を参照願います。
http://www.jma.go.jp/jma/press/0606/22a/kouzui_yougo_houkoku.htmlまたは
http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/05/050622_2_.html

改善前



改善後（平成19年4月から実施）





※橋脚や量水標に危険レベルがわかるよう統一したカラー表示（東北地方のレベル3は黄色表示）